

【施策12】 環境保全・創造

◆展開方向01：脱炭素社会の形成

◆展開方向02：循環型社会の形成

◆展開方向03：環境の保全

展開方向01	1 環境保全の啓発・活動支援事業費	471	
	2 脱炭素社会推進事業費(債務負担分を含む。)	472	
展開方向02	3 産業廃棄物対策事業費	473	
	4 尼崎環境財団補助金	474	
	5 ごみ減量・リサイクル推進事業費	475	
	6 資源集団回収運動奨励金交付事業費	476	
	7 「紙類・衣類の日」回収事業奨励金	477	
	8 さわやか推進員制度事業費	478	
	9 ごみのないまちづくり事業費	479	
	10 じんかい収集事業費	480	
	11 大型ごみ収集等事業費	481	
	12 じんかい収集等委託事業費	482	
	13 し尿収集委託事業費	483	
	展開方向03	14 自動車公害対策事業費	484
		15 大気汚染対策事業費	485
16 水質汚濁・土壌汚染対策事業費		486	
17 騒音振動対策事業費		487	
18 市民農園等運営事業費		488	
19 地盤沈下測量事業費		489	
20 河川愛護運動推進事業費		490	
21 21世紀の尼崎運河再生プロジェクト事業費		491	
22 尼崎21世紀の森構想推進事業費		492	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	環境保全の啓発・活動支援事業費	4N2K	施策	12 環境保全・創造	
根拠法令	環境教育等促進法		展開方向	12-1 脱炭素社会の形成	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成8年度
会計	01 一般会計				
款	20 衛生費				
項	20 環境保全費				
目	10 環境対策費				

局	経済環境局	課	環境創造課、資源循環課	所属長名	宗和 素子、吉岡 辰郎
---	-------	---	-------------	------	-------------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民一人ひとりが地球温暖化による危機を認識できるよう取り組み、それぞれの行動変容に繋げる。
事業概要	市民等と協働して、環境問題に関する普及啓発及び環境保全活動への支援を行う。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> あまがさき環境オープンカレッジ推進事業 9,900千円 主催活動等(エコあまフェスタ2022等)計58回、参加者数 計12,177人(前年度比1.9倍) あまがさき環境教育プログラム事業 5,764千円 実施校数 29校(目標28校) 生ごみ処理機等購入費補助金交付事業 319千円 補助件数 20件 ※その他、レジ袋削減啓発事業 給水機設置によるマイボトル普及促進事業 1,805千円 給水スポット 35か所、尼崎市オリジナルマイボトル販売本数 600本(累計3,819本) 阪急電鉄(株)の協力により、中核市4市(NATS)の駅構内で給水機設置の実証実験を実施

②事業成果の点検

目標指標	地球温暖化を防ぐ行動をする市民の割合							単位	%	
目標・実績	目標値	65.0	達成年度	令和9年度	令和2年度	—	令和3年度	48.9	令和4年度	46.1
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <ul style="list-style-type: none"> あまがさき環境オープンカレッジ推進事業では、「エコあまフェスタ」を初めて生涯学習プラザで開催し、演劇と環境保全を組み合わせたエコ演劇など、新しい切り口も取り入れ実施することで、これまで事業に関わりがなかった層の参加に繋がった。一方で、事業参加者や主催者の高齢化が課題であり、事業の継続性を保つ必要がある。 あまがさき環境教育プログラム事業では、学校現場で定着しつつあることや、積極的な周知により、目標を超える29校で実施するとともに、尼崎の自然(生物多様性)を学ぶ講座について、関係機関と連携する中、内容の検討を行った。一方で、実施講座に偏りが生じているとともに、各年代における切れ目のない環境学習を実施する必要がある。 給水機設置によるマイボトル普及促進事業では、削減効果は500mlペットボトル134,730本となったが、民間施設の給水スポット拡大に向け、多様な業種へ働きかけを行うなど、更なる周知活動が必要である。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境活動の担い手の育成に向け、企業や学校の協力を得る中、若年層の企画段階からの参加を促す。 あまがさき環境教育プログラム事業では、実施校数が順調に伸びていることから継続実施の方向で検討することとし、尼崎の自然(生物多様性)プログラムを追加するなど、様々なメニューを作成することで、児童に多様な学びの機会を提供する。また、就学前の幼児に「遊び」を通じ、自然への興味・関心を育む機会として、新たに「幼児木育事業」を実施する。 関係部局やNATSとの連携等により、給水スポットの更なる拡大に取り組むとともに、継続した事業実施に向け、協力事業者と協議を進める。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	18,585	16,251	17,788	32,225	
報償費	160	165	164	247	自然写真展 審査員謝礼
需用費	678	726	2,253	709	カレンダー印刷等
委託料	17,358	14,996	15,263	30,942	あまがさき環境オープンカレッジ推進事業委託業務等
負担金補助及び交付金	389	364	108	327	生ごみ処理機補助金等
人件費 B	25,495	15,753	14,027	18,588	
職員人工数	3.28	2.04	1.83	2.42	
職員人件費	25,495	15,753	14,027	18,588	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	44,080	32,004	31,815	50,813	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	1,884				
市債					
その他	9,324	13,550	13,588	11,269	環境基金、市町村振興協会市町交付金等
一般財源	32,872	18,454	18,227	39,544	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	脱炭素社会推進事業費(債務負担分を含む。)	4N31	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律			展開方向
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	平成19年度	
会計	01 一般会計			
款	20 衛生費			
項	20 環境保全費			12-1 脱炭素社会の形成
目	10 環境対策費			

局	経済環境局	課	環境創造課、業務課	所属長名	宗和 素子、神田 達也
---	-------	---	-----------	------	-------------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地球温暖化防止のため、2050年までに脱炭素社会の実現に向け、地方公共団体実行計画(区域施策編、事務事業編)に基づき、再エネ利用、省エネ対策など温室効果ガス排出量を削減する。
事業概要	尼崎市地球温暖化対策推進計画、尼崎市気候非常事態行動宣言に基づき、市民・事業者とともに地域における地球温暖化対策に取り組む。また、市の事務事業においても、継続的な環境負荷の低減を目指す。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 事業所の脱炭素化等促進事業 3,420千円 グリーンビークル導入補助: 交付件数 22件(HVTトラック(4t未満)2台、EV20台)、交付額 3,256,000円 住宅の脱炭素化等促進事業 20,795千円 尼崎市ZEH普及促進事業補助金: 交付件数 11件、交付額 6,400,000円 太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業: 参加登録 409件、契約締結 33件、太陽光パネル導入量 約129kW エネルギーの地産地消促進事業 0千円 契約数 33事業者、年間CO2削減量 約6kt-CO2 脱炭素行動促進事業 1,473千円 SDGsポイント付与実績 4,247件、1,169,080ポイント 市の事務事業における脱炭素化等促進事業 4,839千円 PPAモデルを活用した太陽光発電設備の導入について、既存の公共施設については施設の更新状況等から約30施設を選定し、太陽光発電設備の導入の可否について検討した。 脱炭素先行地域推進事業 116,251千円 阪神電気鉄道(株)において、ゼロカーボンベースボールパークに係る設計業務が行われ、整備工事の着手に至った。

②事業成果の点検

目標指標	市域におけるCO2排出量							単位	kt/年	
目標・実績	目標値	2,049	達成年度	令和9年度	令和2年度	2,496	令和3年度	2,289 速報値	令和4年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーの地産地消について、今般のエネルギー価格高騰等の社会情勢を受け、事業者の関心が高まり、予定販売電力量の上限を超えた。引き続き販売可能な再生可能エネルギーを確保し、事業者へ提供していく。 EVカーシェアや電気使用量の削減等、省エネ行動に繋がる取組メニューを増やすとともに、あま咲きコインと連動した広報など、効果的な周知活動により、市民の行動変容を促す必要がある。 公用車のエコカー化や、小規模な地域内で再生可能エネルギーの地産地消を行う自立・分散型エネルギーシステムの構築の検討など、市が率先して脱炭素に向けて取り組む必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光パネル等の共同購入事業、ZEH補助事業等を継続実施するとともに、あま咲きコインを付与する省エネ行動メニューを追加するほか、公用車に加え、新たに民間のEVカーシェアサービスを実施する。 公用車20台をEVに転換するとともに、災害時におけるEVの活用方法を検討する。また、専門知識を有する事業者と連携し、市営若草住宅における自立・分散型エネルギーシステムの構築について、検討を進める。 脱炭素先行地域の整備事業を円滑に進めるとともに、阪神電気鉄道(株)と協力し市内外への効果的な周知を行う。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	21,559	19,430	146,778	118,662	
需用費	204	301	369	742	省エネガイドブック、パソコン電気代、事務用品等
委託料	6,563	4,339	5,558	8,301	宣言/パンフレット全戸配布に係る業務委託等
使用料及び賃借料	88		944	1,130	公用車(EV)リース料
負担金補助及び交付金	14,588	14,644	139,706	104,516	脱炭素先行地域推進事業補助金等
その他	116	146	201	3,973	自動車保有台数調査、端末利用料、旅費
人件費 B	43,012	34,009	33,686	38,078	
職員人工数	5.27	4.12	4.11	4.61	
職員人件費	40,964	31,815	31,503	35,409	
会任等人件費	2,048	2,194	2,183	2,669	
合計 C(A+B)	64,571	53,439	180,464	156,740	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	1,841	1,993	116,643	88,183	地域脱炭素移行・再エネ推進交付金等
市債					
その他	16,668	14,217	26,036	23,861	環境基金
一般財源	46,062	37,229	37,785	44,696	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	産業廃棄物対策事業費	4R1K	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			展開方向
事業分類	法定事業(裁量含む)	事業開始年度	昭和46年度	
会計	01 一般会計			
款	20 衛生費			
項	25 清掃費			
目	05 清掃総務費			

局	経済環境局	課	産業廃棄物対策担当	所属長名	北村 雅樹
---	-------	---	-----------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	産業廃棄物を安全かつ適正に処理することができる体制を整備すべく、これまで「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)」等により、不適正処理対策を内容とする規制の強化を行ってきた。 排出事業者による適正な処理の確保、産業廃棄物処理施設の維持管理対策の強化、産業廃棄物処理業の優良化の推進等、長期的な産業廃棄物の適正処理体制を構築し、循環型社会の形成を推進する。
事業概要	産業廃棄物処理業及び産業廃棄物処理施設の許可を行うとともに、排出事業者及び処理業者に対し産業廃棄物の適正処理の指導、監督及び啓発等に努めることにより、生活環境の保全を図る。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 産業廃棄物処理業等の許可業務を行う。 2 排出事業者、許可業者への立入調査等により、産業廃棄物の適正処理の徹底・促進を図る。 3 使用済自動車引取業及びフロン類回収業の登録並びに解体業及び破砕業の許可を行うとともに、立入調査等により、適正処理の徹底を図る。 4 焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果の徴収等を行い、基準を満たすよう排出事業者及び許可業者を指導する。 5 建設リサイクル法に基づき、建設系廃棄物の不適正処理の防止に向けた指導を行う。 6 廃棄物処理研修会の開催及び「適正処理パンフレット」の発行等により、排出事業者及び許可業者への指導啓発を行う。 7 「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB特措法)」に基づき、PCB廃棄物の適正保管及び適正処理の促進を図る。 8 東海岸町地先埋立事業に当たり、生活環境に支障を生ずることがないように、処分場及び搬入基地等を監視する。 9 産業廃棄物の不法投棄防止等適正処理の確保を図るため、排出事業者に対して、産業廃棄物管理票(マニフェスト)の使用の指導を行う。

②事業成果の点検

目標指標	不利益処分等(許可取消等)の件数						単位	件		
目標・実績	目標値	0	達成年度	毎年度	令和2年度	0	令和3年度	0	令和4年度	0
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 排出事業者及び産業廃棄物処理業者による適正処理の確保を図るなど、関係法令に基づき不適正処理対策を強化した結果、産業廃棄物処理業の許可取消等の不利益処分は0件であった。 高濃度PCB廃棄物については、政府指定の特殊会社(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)による処分が順次完了するよう進捗管理を徹底し保有事業者に必要な指導・助言を行うとともに、処分期限後に新たに判明したものについては、保有事業者に対し適正保管等必要な措置を講じるよう指導を徹底した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き関係法令に基づき、不適正処理対策を強化し、排出事業者及び産業廃棄物処理業者による適正処理の確保を図る。 高濃度PCB廃棄物については、期限内処理の完遂に努めてきたが、新たに発見された場合は、環境省と連携し速やかに行政代執行等必要な措置をとる。また、低濃度PCB廃棄物については、令和9年3月31日の期限内処理に向け国から示される方針に基づき、適正処理を指導する。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	2,571	2,506	2,403	46,452	
旅費	19	20	20	151	会議出席旅費等
需用費	382	393	435	458	消耗品費等
委託料	2,090	2,013	1,947	30,735	PCB廃棄物処理委託料(代執行費用)等
負担金補助及び交付金	80	80		15,056	PCB廃棄物代執行費用助成金返還金等
その他			1	52	15条施設許可に係る専門家への報償費等
人件費 B	56,144	54,925	47,883	47,979	
職員人工数	7.00	7.00	6.00	6.00	
職員人件費	54,411	54,054	45,990	46,086	
会任等人件費	1,733	871	1,893	1,893	
合計 C(A+B)	58,715	57,431	50,286	94,431	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	3,594	1,021	2,118	31,476	PCB廃棄物処理実費弁償金等
一般財源	55,121	56,410	48,168	62,955	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	尼崎環境財団補助金	4R3K	施策	12 環境保全・創造	
根拠法令	—		展開方向	12-2 循環型社会の形成	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度	平成4年度		
会計	01 一般会計				
款	20 衛生費				
項	25 清掃費				
目	05 清掃総務費				
局	経済環境局	課	資源循環課	所属長名	吉岡 辰郎

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	(公財)尼崎環境財団に対し人的支援を行うことにより、本市の環境保全や公衆衛生の向上に貢献することを事業目的とする当該財団の中長期的な経営計画や効率的な業務執行体制を整備し、安定的な経営基盤の確立を図る。
事業概要	尼崎環境財団が、公益財団法人として安定的な経営基盤を確立するための人件費補助金
実施内容	<p>本市における生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図り、もって市民の生活環境の向上、福祉の増進に寄与することを目的に設立された(公財)尼崎環境財団の経営改善を進めるため、本市より人的支援を行っている理事の人件費補助を行うもの。</p> <p>(公財)尼崎環境財団では、以下の事業を実施している。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・し尿の収集運搬及び一般廃棄物処理施設の運営に関する事業 ・環境美化及び環境保全の推進に関する事業 ・斎場・墓園の管理運営に関する事業 ・ごみ収集運搬事業

②事業成果の点検

目標指標	(公財)尼崎環境財団の市委託事業収益等の状況							単位	%	
目標・実績	目標値	100	達成年度	毎年度	令和2年度	98	令和3年度	97	令和4年度	97
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用削減の取組により、目標指標に定める市委託事業収益等の割合(当期費用から自主収益を差し引いた額/市委託事業収益等)については概ね均衡が取れている。 ・令和5年度からの第3次中期経営計画の策定や新規収益事業の実施等、市からの人的支援により、計画的な事業展開や経営改善に取り組んでいる。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き経営改善を促進していくため、行政と民間の中間に位置する(公財)尼崎環境財団の特性(公益性や柔軟性等)を生かしながら、業務の質の向上及び効率化を図っていく必要がある。 ・令和5年度は、第3次中期経営計画に基づき、斎場・墓園管理運営事業における指定管理業務の期間満了に向けた対応を行うとともに、令和6年度以降の業務執行体制を確立し効率的な運営を行っていく必要がある。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	7,702	7,704	7,644	7,674	
負担金補助及び交付金	7,702	7,704	7,644	7,674	人件費補助(常務理事)
人件費 B	389	386	383	384	
職員人工数	0.05	0.05	0.05	0.05	
職員人件費	389	386	383	384	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	8,091	8,090	8,027	8,058	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	8,091	8,090	8,027	8,058	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	ごみ減量・リサイクル推進事業費	4S1A	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 等			展開方向
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	平成13年度	
会計	01 一般会計			
款	20 衛生費			
項	25 清掃費			
目	10 じんかい処理費			

局	経済環境局	課	資源循環課	所属長名	吉岡 辰郎
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	循環型社会の形成に向け、3Rによるごみ減量を推進し、環境負荷の低減を図る。また、社会的課題の解決にも寄与する食品ロスやプラスチックごみの削減など、ごみとしないリデュースの取組を推進するため、市民・事業者における主体的な削減行動を促進する。
事業概要	尼崎市一般廃棄物処理基本計画のごみ減量目標達成及び令和5年4月施行の改正尼崎市廃棄物の処理及び清掃に関する条例(以下「条例」という。)等の円滑な運用のため、ごみ減量・リサイクル施策の展開を図る。
実施内容	<p>1 「エコあま君」紙資源リサイクル事業(事業開始 平成14年度) 1,263千円 事業者・行政の協働の取組により構築したNPO法人が運用する事業系古紙のリサイクルシステムを活用し、生涯学習プラザ等の古紙リサイクルを行うとともに、当該古紙を用いて製造したトイレトーパーを公衆便所等で使用する。 令和4年度実績 古紙回収量22.8t、トイレトーパー納品数41,472個</p> <p>2 市民工房管理運営事業(事業開始 平成21年度) 7,252千円 啓発パネルの掲示や家庭から排出された家具類等を展示・提供し、ごみ減量・リサイクルの啓発を行う。 令和4年度実績 来場者数600人、家具申込者数379人、家具当選者数276人</p> <p>3 一般廃棄物処理基本計画に基づく啓発事業(事業開始 平成24年度) 19,256千円 ごみ減量・3Rを推進するため、具体的な取組方法を記載した「家庭ごみべんりちよう」と「事業系廃棄物適正処理ルールブック」を作成し、全世帯・全事業者に配布する。令和4年度実績 配布数 239,315世帯、16,529事業者</p> <p>4 食品ロス削減事業(事業開始 令和3年度) 106千円 食品ロス削減に取り組む飲食店等を「もったいない!あまがさき 推進店」として認定し、広報の支援や啓発資材等の提供を行う。令和4年度実績 認定店舗数63店</p>

②事業成果の点検

目標指標	焼却対象ごみ量							単位	t/年	
目標・実績	目標値	123,466	達成年度	令和9年度	令和2年度	130,463	令和3年度	127,784	令和4年度	124,511
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量の啓発等の結果、焼却対象ごみ量は3,273t、「燃やすごみ」の排出量は15g/人・日、前年度比で減少した。 ・廃棄物適正処理推進のため、条例を改正し、説明会などを通じて改正内容や適正処理方法を周知した。 ・市民・事業者に対し、食品ロスやプラスチックごみ削減等の課題についての認識を高めるとともに、認識から行動への変容を促進する必要がある。 ・資源物の持ち去りについては、条例施行後も持ち去りを止めない者がある程度残ると推測されることから、引き続き啓発を行うとともに、繰り返し持ち去りを行う者に対して指導・勧告する必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントにおけるプラスチックごみ削減など、わかりやすい啓発に加え、楽しみながら循環型社会の形成に繋がる行動変容の機会を創出する。 ・民間警備会社による市内全域でのパトロールの実施など、周知啓発を充実するとともに、生活困窮のために持ち去りを行っている者に対しては、相談先の紹介など福祉的側面を意識した取組を継続する。また、違反事例については、職員による啓発指導を行うとともに、悪質事例については、行政指導に加え、命令や罰則適用も視野に入れ、対応する。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	10,311	10,062	27,877	30,015	
需用費	1,291	1,180	12,963	4,158	べんりちよう、ルールブック等の印刷製本費等
役務費	112		496	2	外国語版べんりちよう筆耕翻訳料等
委託料	8,729	8,697	14,159	21,646	紙資源リサイクル事業、べんりちよう配布業務等
使用料及び賃借料	178	184	258	207	ごみ分別アプリ配信サーバ使用料等
負担金補助及び交付金	1	1	1	4,002	使用済蛍光管処理委託負担金、エコ容器補助金(R5)
人件費 B	14,691	17,915	20,696	22,044	
職員人工数	1.89	2.32	2.70	2.87	
職員人件費	14,691	17,915	20,696	22,044	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	25,002	27,977	48,573	52,059	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金			5,331		ひょうご地域創生交付金
市債					
その他	10,311	10,062	8,867	8,921	市町村振興協会市町交付金、環境基金繰入金
一般財源	14,691	17,915	34,375	43,138	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	資源集団回収運動奨励金交付事業費	4S1K	施策	12 環境保全・創造	
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 等		展開方向	12-2 循環型社会の形成	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度			平成3年度
会計	01 一般会計				
款	20 衛生費				
項	25 清掃費				
目	10 じんかい処理費				

局	経済環境局	課	資源循環課	所属長名	吉岡 辰郎
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	ごみ減量・リサイクルへの取組を促進するため、市民の自発的な取組として行われる資源集団回収活動団体を登録するとともに、回収量に応じた奨励金を交付し、資源物である紙類・布類・缶類・びん類の資源化を促進する。						
事業概要	ごみ減量・リサイクルを促進するため、資源集団回収運動を定期的に実施している市内の非営利団体に対して、紙類・布類・缶類・びん類の回収量に応じた奨励金を交付する。						
実施内容	回収量(t)等について						
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	交付団体数	555団体	550団体	534団体	511団体	494団体	
	紙類	新聞	3,002	2,655	2,170	1,989	1,730
		雑誌	1,466	1,347	1,253	1,173	1,090
		段ボール	1,032	1,016	1,015	1,042	1,019
		その他	33	32	32	32	31
	布類	232	249	193	226	203	
	缶類	177	184	183	182	163	
	びん類	0	0	0	0	0	
回収量合計	5,942	5,483	4,846	4,644	4,236		

②事業成果の点検

目標指標	年間回収量(尼崎市一般廃棄物処理基本計画の目標値)							単位	t	
目標・実績	目標値	5,205	達成年度	令和9年度	令和2年度	4,846	令和3年度	4,644	令和4年度	4,236
	事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>・実績値としての回収量は減少が続いている。これは、回収対象としている印刷物の主たる割合を占めていた新聞がインターネット等の普及により、年5%以上の発行部数の急減が続いていることや、雑誌についても発行部数の減少が続いていることに起因していると思われる。そのため、紙資源回収量の減少は他都市においても同様の傾向を示している。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・「燃やすごみ」の中にはまだ資源化可能な紙類が約14.8%混入している(令和4年度平均)。定期的に全市の各戸で回収を行う必要のある行政回収と併せて、市民が自発的に地域で行うことにより、まとまった量が排出される収集効率の高い資源集団回収を行うことが、紙資源の分別推進のためには必要と考える。さらに、近年増加していない回収実施団体数についても、一層の周知を図るなど増加に努める。</p>								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	14,594	13,988	12,715	13,451	
負担金補助及び交付金	14,539	13,933	12,707	13,401	奨励金(@3円/kg)
需用費	55	55	8	50	発送用封筒等
人件費 B	3,342	3,320	2,529	2,535	
職員人工数	0.43	0.43	0.33	0.33	
職員人件費	3,342	3,320	2,529	2,535	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	17,936	17,308	15,244	15,986	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	14,594	13,988	12,715	13,451	市町村振興協会市町交付金
一般財源	3,342	3,320	2,529	2,535	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	「紙類・衣類の日」回収事業奨励金	4S21	施策	12 環境保全・創造	
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		展開方向	12-2 循環型社会の形成	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成10年度
会計	01 一般会計				
款	20 衛生費				
項	25 清掃費				
目	10 じんかい処理費				

局	経済環境局	課	業務課	所属長名	神田 達也
---	-------	---	-----	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	安定した回収体制を維持することにより、紙類・衣類のリサイクルを推進し、ごみの減量、環境負荷の軽減及び燃やすごみ削減による収集コスト縮減並びにごみ焼却炉に対する負荷の軽減に寄与する。																																																
事業概要	ごみ減量・リサイクルへの取組を促進するため、「紙類・衣類の日」回収事業を実施するにあたり、協力者である回収事業者団体に対し、安定した回収体制を維持するための奨励金を交付する。																																																
実施内容	【奨励金】 「紙類・衣類の日」回収奨励金交付要綱の規定に基づき、古紙の各品目の買取に係る基準単価を設定したうえで、基準単価と実勢単価(日経単価)との差額に回収量を乗じた額の合計額を交付する。																																																
	【交付先】 阪神環境テクノ協同組合																																																
	【回収量/奨励金の推移】																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紙類</td> <td>8,345 t</td> <td>8,096 t</td> <td>8,254 t</td> <td>8,737 t</td> <td>8,743 t</td> </tr> <tr> <td>新聞</td> <td>3,579 t</td> <td>3,293 t</td> <td>2,942 t</td> <td>3,103 t</td> <td>3,034 t</td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td>2,489 t</td> <td>2,432 t</td> <td>2,458 t</td> <td>2,479 t</td> <td>2,445 t</td> </tr> <tr> <td>段ボール</td> <td>2,277 t</td> <td>2,371 t</td> <td>2,854 t</td> <td>3,155 t</td> <td>3,264 t</td> </tr> <tr> <td>衣類</td> <td>517 t</td> <td>599 t</td> <td>555 t</td> <td>658 t</td> <td>617 t</td> </tr> <tr> <td>回収量計</td> <td>8,862 t</td> <td>8,695 t</td> <td>8,809 t</td> <td>9,395 t</td> <td>9,360 t</td> </tr> <tr> <td>奨励金</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>20,000千円</td> <td>18,993千円</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	紙類	8,345 t	8,096 t	8,254 t	8,737 t	8,743 t	新聞	3,579 t	3,293 t	2,942 t	3,103 t	3,034 t	雑誌	2,489 t	2,432 t	2,458 t	2,479 t	2,445 t	段ボール	2,277 t	2,371 t	2,854 t	3,155 t	3,264 t	衣類	517 t	599 t	555 t	658 t	617 t	回収量計	8,862 t	8,695 t	8,809 t	9,395 t	9,360 t	奨励金	-	-	-	20,000千円	18,993千円
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																											
	紙類	8,345 t	8,096 t	8,254 t	8,737 t	8,743 t																																											
	新聞	3,579 t	3,293 t	2,942 t	3,103 t	3,034 t																																											
	雑誌	2,489 t	2,432 t	2,458 t	2,479 t	2,445 t																																											
	段ボール	2,277 t	2,371 t	2,854 t	3,155 t	3,264 t																																											
	衣類	517 t	599 t	555 t	658 t	617 t																																											
回収量計	8,862 t	8,695 t	8,809 t	9,395 t	9,360 t																																												
奨励金	-	-	-	20,000千円	18,993千円																																												

②事業成果の点検

目標指標	紙類・衣類の回収量(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)	単位	t																						
目標・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>—</th> <th>達成年度</th> <th>—</th> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>8,809</th> <th>令和3年度</th> <th>9,395</th> <th>令和4年度</th> <th>9,360</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	8,809	令和3年度	9,395	令和4年度	9,360													
目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	8,809	令和3年度	9,395	令和4年度	9,360															
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> 古紙売却単価は、令和元年下半年以降の急激な下落からすると近年は上昇傾向が見られる。しかし一方で回収コストは増加傾向にあるため、当該奨励金の交付により、安定的かつ継続的な紙類・衣類の回収が図れた。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民のリサイクル意識の醸成により、今後も紙類・衣類のリサイクルを推進していくことから、古紙単価の動向を注視し、安定的かつ継続的な回収体制を維持していく。 																								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	0	20,000	18,993	20,000	
負担金補助及び交付金		20,000	18,993	20,000	
人件費 B	0	6,564	6,515	6,606	
職員人工数		0.85	0.85	0.86	
職員人件費		6,564	6,515	6,606	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	0	26,564	25,508	26,606	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	0	26,564	25,508	26,606	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	さわやか推進員制度事業費	4S2A	施策	12 環境保全・創造	
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 等		展開方向	12-2 循環型社会の形成	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成4年度
会計	01 一般会計				
款	20 衛生費				
項	25 清掃費				
目	10 じんかい処理費				

局	経済環境局	課	資源循環課	所属長名	吉岡 辰郎
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	循環型社会形成の基本となるごみ減量・リサイクルの推進及びごみ出しマナーの向上を図るため、立候補した市民に委嘱し、地域や環境のために行うごみに関する取組の拡大を図る。
事業概要	地域や環境のために、ごみに関する活動を自主的に行う市民をさわやか推進員として委嘱するとともに(登録制ボランティア制度)、情報提供や活動で必要とする物品を購入、現物支給することによりさわやか推進員の活動を支援する。
実施内容	<p>1 地区会議(13回) 各行政地区毎、市からの活動に必要な物品の提供及び資料による情報提供を行う。(延べ297人)</p> <p>2 研修会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>3 さわやか推進員数(188人)※令和5年3月末時点</p>

②事業成果の点検

目標指標	1人1日あたりの「燃やすごみ」の排出量							単位	g/人・日	
目標・実績	目標値	423	達成年度	令和9年度	令和2年度	452	令和3年度	443	令和4年度	428
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわやか推進員が行うごみ減量・リサイクルに関する自らの取組や地域での啓発活動がごみの減量に寄与し、令和4年度の1人1日あたりの燃やすごみ量は前年度比15g減少した。 ・単身者世帯に加え外国人世帯が増加しているなど制度開始時から課題が変化しており、柔軟に対応する必要があることから、令和2年度からさわやか推進員制度(登録ボランティア制)へと移行した。人数減少については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、十分な周知活動ができていないことも要因と考えている。 ・令和5年度末で現登録者が任期満了のため、登録者の維持・増加に向け、一層の周知を図る。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のごみに関する取組を率先して行う人の育成を通して、市内のごみ減量や資源物のリサイクル、ごみ出しマナーを向上させるため、継続実施の方向で検討する。 ・令和3年3月に策定した「尼崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみをつくらない「リデュース」を最優先とする取組を推進するため、食品ロスの削減等の施策に協力するよう呼びかけるとともに、みんなで広げる「もったいない!あまがさき」の基本理念やごみ減量の目標値を周知していく。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	1,070	1,011	1,013	1,926	
報償費				81	研修会講師謝礼
需用費	981	914	917	1,635	指定袋、その他消耗品等
役務費	68	76	58	88	ボランティア災害保険料(350円/人)
使用料及び賃借料	21	21	38	122	地区会議等会場使用料
人件費 B	3,809	3,784	2,913	2,535	
職員人工数	0.49	0.49	0.38	0.33	
職員人件費	3,809	3,784	2,913	2,535	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	4,879	4,795	3,926	4,461	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	1,070	1,011	1,013	1,926	市町村振興協会市町交付金
一般財源	3,809	3,784	2,913	2,535	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	ごみのないまちづくり事業費	4S2K	施策	12 環境保全・創造	
根拠法令	尼崎市空き缶等の散乱防止に関する条例		展開方向	12-2 循環型社会の形成	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成8年度
会計	01 一般会計				
款	20 衛生費				
項	25 清掃費				
目	10 じんかい処理費				

局	経済環境局	課	業務課	所属長名	神田 達也
---	-------	---	-----	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民や事業者と、ごみのポイ捨てや不法投棄、不法広告物等の状況を十分に共有するとともに、市民等の協力を得ながら「自分たちの住むまちは、自らの手できれいにする」といったまちなみ美化意識の醸成を図る。
事業概要	不法投棄を防止するための対策を講じるとともに、まちなみ美化をより一層推進するため、主要駅前ターミナル等の清掃をはじめ、市民・事業者との協働により、違法な貼り紙や立て看板の簡易除却、ポイ捨て防止等の啓発等を行う。
実施内容	<p>1 不法投棄等防止対策事業</p> <p>【不法投棄対策】 (1)関係部局と連携しつつ、業務委託により巡回監視、指導・啓発及び収集を実施 (2)警察等関係機関との連携による指導・取締り等の強化 (3)町会等地域との連携による監視・通報体制の構築及び運用</p> <p>【不法広告物対策】 県屋外広告物条例等に基づき、不法広告物の簡易除却を行い、国、県、警察等関係機関と合同で業者等の指導や不法広告物の取締りを実施する。さらに、市民との協働の取組として、違反広告物除却活動員制度を積極的に推進する。 ＜令和4年度実施状況＞不法広告物簡易除却実績 179枚</p> <p>2 まちなみ美化推進事業</p> <p>(1)市内主要駅周辺でのクリーンキャンペーンや、クリーンパートナー等による地域での啓発・清掃活動 ＜令和4年度実施状況＞ ・ポイ捨て、フードロス、たばこ対策、歩きスマホ等の啓発を同時に行うマナー向上キャンペーン 2回、242人参加 ・クリーンパートナーによる駅前定期清掃活動、8駅(16回)、111人参加</p> <p>(2)地域清掃ごみ等収集運搬業務委託 ＜令和4年度実施状況＞収集量:68.50t(側溝汚泥 44.56t)</p> <p>(3)主要駅前ターミナル等の清掃を業務委託により実施</p> <p>3 主要駅前における喫煙所清掃業務 ＜対象施設＞JR尼崎駅北側喫煙所、JR尼崎駅南側喫煙所、JR塚口駅東側喫煙所、阪神尼崎駅北側喫煙所</p>

②事業成果の点検

目標指標	まちなみ美化活動への参加人数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)						単位	人			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	159	令和3年度	150	令和4年度	353
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <p>・クリーンパートナーによる駅前定期清掃活動(8駅、16回)における1回あたりに回収した、たばこのポイ捨て数は、前年度比50%減の390本となるなど、成果を上げつつある。</p> <p>・参加人数を増やしていくためには、市民や事業者等による自発的な清掃活動等を広げていく必要がある。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・ごみの分別やポイ捨て禁止について、リーフレットやポスターによる周知を行うとともに、令和4年度から開始した「マナー向上キャンペーン」を拡充し、6か所の駅前で実施する。</p> <p>・協働する市民や事業者等を増やすためには、まちなみ美化活動を広く認知してもらう必要があることから、その活動内容を市のホームページやYouTubeなどの動画等を活用して情報発信していく。</p>										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	105,290	105,018	104,840	102,012	
需用費	1,043	996	1,039	1,141	啓発活動用器材 等
役務費	57	52	49	51	ボランティア保険料 等
委託料	104,188	103,969	103,749	100,795	不法投棄防止対策等業務委託料
使用料及び賃借料	2	1	3	15	会場使用料
負担金補助及び交付金				10	SDGs地域ポイント負担金
人件費 B	29,149	26,564	26,061	26,346	
職員人工数	3.75	3.44	3.40	3.43	
職員人件費	29,149	26,564	26,061	26,346	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	134,439	131,582	130,901	128,358	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	134,439	131,582	130,901	128,358	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	じんかい収集事業費	4S3K	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			展開方向
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	—	
会計	01 一般会計			
款	20 衛生費			
項	25 清掃費			
目	10 じんかい処理費			

局	経済環境局	課	業務課	所属長名	神田 達也
---	-------	---	-----	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	廃棄物を安定的かつ確実に継続して処理することで、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。																																										
事業概要	市内一円から排出される一般家庭ごみについて、世帯数比で24%に相当する地域を直営地区として収集運搬を行うとともに、大型・臨時ごみの有料収集について、市内全域を直営により収集する。																																										
実施内容	<p>1 じんかい収集事業費</p> <p>【収集内容】</p> <p>①燃やすごみ:週2回定期収集</p> <p>②びん・缶・ペットボトル:週1回定期収集</p> <p>③金属製小型ごみ:月1回定期収集</p> <p>④大型・臨時ごみ:「家庭ごみ案内センター」で受付、随時有料収集</p> <p><実施状況>収集量(直営分) (単位:t)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃やすごみ</td> <td>23,359</td> <td>23,057</td> <td>23,187</td> <td>15,041</td> <td>14,306</td> </tr> <tr> <td>びん・缶・ペットボトル</td> <td>1,995</td> <td>1,932</td> <td>2,011</td> <td>1,334</td> <td>1,249</td> </tr> <tr> <td>金属製小型ごみ</td> <td>565</td> <td>513</td> <td>548</td> <td>315</td> <td>271</td> </tr> <tr> <td>大型ごみ</td> <td>1,627</td> <td>1,520</td> <td>1,750</td> <td>1,624</td> <td>1,647</td> </tr> <tr> <td>臨時ごみ</td> <td>2,067</td> <td>2,105</td> <td>2,007</td> <td>1,965</td> <td>1,489</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29,613</td> <td>29,127</td> <td>29,503</td> <td>20,279</td> <td>18,962</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	燃やすごみ	23,359	23,057	23,187	15,041	14,306	びん・缶・ペットボトル	1,995	1,932	2,011	1,334	1,249	金属製小型ごみ	565	513	548	315	271	大型ごみ	1,627	1,520	1,750	1,624	1,647	臨時ごみ	2,067	2,105	2,007	1,965	1,489	計	29,613	29,127	29,503	20,279	18,962
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																					
燃やすごみ	23,359	23,057	23,187	15,041	14,306																																						
びん・缶・ペットボトル	1,995	1,932	2,011	1,334	1,249																																						
金属製小型ごみ	565	513	548	315	271																																						
大型ごみ	1,627	1,520	1,750	1,624	1,647																																						
臨時ごみ	2,067	2,105	2,007	1,965	1,489																																						
計	29,613	29,127	29,503	20,279	18,962																																						
	<p>2 じんかい収集車両関係事業費</p> <p>今後のじんかい収集業務執行体制や危機管理の観点などを考慮し、必要台数について検討を行い、より効率的なじんかい収集車両の活用を目指す。</p>																																										

②事業成果の点検

目標指標	一般家庭ごみの収集運搬量(直営分)(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	t		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	29,503	令和3年度	20,279	令和4年度	18,962
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトソーシングの更なる導入についての基本的方向性を踏まえ、令和3年4月から委託範囲を見直し、直営地区を35%から24%へ縮小した。 ・市民に対する減量や再資源化を促す適正排出に関する啓発等を行ってきており、一般家庭ごみの収集運搬量は、長期的には減少傾向にある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も直営と委託の最適なバランスや保持すべき直営体制の規模などについて、検討する。 ・引き続き、収集運搬業務を継続的かつ安定的に実施していくとともに排出者マナーの啓発強化を図る。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	28,788	39,175	41,388	46,339	
需用費	17,839	14,759	16,699	18,237	作業用器材、燃料費等
役務費	212	180	255	260	携帯電話使用料、車両登録抹消手数料
委託料		330	605	901	交通安全研修業務委託料
使用料及び賃借料	10,737	23,906	23,829	26,941	電子複写機賃借料、車両リース料
人件費 B	640,715	577,113	583,590	562,768	
職員人工数	80.67	72.51	75.10	76.91	
職員人件費	627,048	559,922	562,936	553,291	
会任等人件費	13,667	17,191	20,654	9,477	
合計 C(A+B)	669,503	616,288	624,978	609,107	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	669,503	616,288	624,978	609,107	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	大型ごみ収集等事業費	4S3N	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			展開方向
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	平成9年度	
会計	01 一般会計			
款	20 衛生費			
項	25 清掃費			
目	10 じんかい処理費			

局	経済環境局	課	業務課	所属長名	神田 達也
---	-------	---	-----	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	廃棄物を安定的かつ確実に継続して処理することで、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。				
事業概要	大型ごみ及び臨時ごみ等について、随時受付の上、有料収集を行う。				
実施内容	1 大型ごみ収集等事業 大型・臨時ごみ等の手数料を、ごみ処理券(300円券)及び臨時ごみ処理券(5,400円券)の購入により収納することとし、処理券の販売をコンビニエンスストア等の取扱店に委託する。 <令和4年度実施状況> ごみ処理券・臨時ごみ処理券販売実績(一般廃棄物処理手数料(歳入)決算額) 計110,191,500円				
	2 大型ごみ受付センター事業 「家庭ごみ案内センター」において、専用システムを用いた大型ごみ及び臨時ごみ等の収集申込受付及び家庭ごみ収集に関する全般的な案内が可能な体制を構築・運用する。(令和3年10月から、インターネット受付を開始) <令和4年度実施状況>家庭ごみ案内センター受付件数(うちインターネット件数)				
		令和4年度実績		令和3年度実績	
		大型ごみ	88,378件 (25,742件)	79,341件	(11,645件)
	臨時ごみ	4,747件 (1,054件)	5,634件	(689件)	
	小動物死体	1,361件	1,413件		
	問合せ(案内全般)	54,166件	59,362件		
	合計	148,652件 (12,388件/月、445件/日)	145,750件 (12,146件/月、438件/日)		

②事業成果の点検

目標指標	大型ごみ及び臨時ごみの収集運搬量(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)						単位	t			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	3,757	令和3年度	3,589	令和4年度	3,136
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・大型ごみ及び臨時ごみの収集運搬については、「家庭ごみ案内センター」への収集申込を行い、「ごみ処理券・臨時ごみ処理券」により手数料を収納するという現行の体制が市民に十分に定着してきており、毎年一定の販売実績をあげている。 ・循環型社会形成のため、リデュース・リユースの推進が必要。										
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・引き続き、現行の体制を維持し適正な収納業務を実施する。 ・ごみ教室を通じ、大型ごみ等のリデュース・リユースの啓発を行う。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	51,606	55,486	60,886	60,427	
需用費	6,708	5,284	5,127	4,117	大型ごみ・臨時ごみ処理券作成
役員費			21		GS1事業者コード更新手数料
委託料	44,898	50,202	55,738	56,310	大型・臨時ごみ処理券販売業務委託料、 家庭ごみ案内センター運営業務委託料
人件費 B	27,672	7,309	9,410	7,285	
職員人工数	3.56	0.75	1.05	1.05	
職員人件費	27,672	5,792	7,530	7,285	
会任等人件費		1,517	1,880		
合計 C(A+B)	79,278	62,795	70,296	67,712	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	19,884	17,845	17,305	16,867	一般廃棄物処理手数料
一般財源	59,394	44,950	52,991	50,845	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	じんかい収集等委託事業費	4S4A	施策	12 環境保全・創造	
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		展開方向	12-2 循環型社会の形成	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			昭和36年度
会計	01 一般会計				
款	20 衛生費				
項	25 清掃費				
目	10 じんかい処理費				

局	経済環境局	課	業務課	所属長名	神田 達也
---	-------	---	-----	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	廃棄物を安定的かつ確実に継続して処理することで、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。また、外部委託により実施することで経済性と安定性の両立を図る。																																							
事業概要	市内一円から排出される一般家庭ごみについて、世帯数比で76%に相当する地域の収集運搬を委託するとともに、市内全域の犬猫等小動物死体及び地域清掃ごみについても、委託により収集する。																																							
実施内容	【収集内容】																																							
	①燃やすごみ:週2回定期収集																																							
	②びん・缶・ペットボトル:週1回定期収集																																							
	③金属製小型ごみ:月1回定期収集																																							
④犬・猫等死体:「家庭ごみ案内センター」で受付、随時収集																																								
(1)一般家庭ごみ収集運搬業務委託																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">＜実施状況＞ 収集運搬量(委託分)</th> <th colspan="4">(単位:t)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃やすごみ</td> <td>52,743</td> <td>52,456</td> <td>52,701</td> <td>58,874</td> <td>56,892</td> </tr> <tr> <td>びん・缶・ペットボトル</td> <td>3,267</td> <td>3,263</td> <td>3,496</td> <td>3,998</td> <td>3,904</td> </tr> <tr> <td>金属製小型ごみ</td> <td>1,062</td> <td>1,035</td> <td>1,118</td> <td>1,072</td> <td>957</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>57,072</td> <td>56,754</td> <td>57,315</td> <td>63,944</td> <td>61,753</td> </tr> </tbody> </table>					＜実施状況＞ 収集運搬量(委託分)		(単位:t)					平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	燃やすごみ	52,743	52,456	52,701	58,874	56,892	びん・缶・ペットボトル	3,267	3,263	3,496	3,998	3,904	金属製小型ごみ	1,062	1,035	1,118	1,072	957	計	57,072	56,754	57,315	63,944	61,753
＜実施状況＞ 収集運搬量(委託分)		(単位:t)																																						
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																			
燃やすごみ	52,743	52,456	52,701	58,874	56,892																																			
びん・缶・ペットボトル	3,267	3,263	3,496	3,998	3,904																																			
金属製小型ごみ	1,062	1,035	1,118	1,072	957																																			
計	57,072	56,754	57,315	63,944	61,753																																			
(2)犬猫等小動物死体等収集運搬業務委託																																								
＜令和4年度実施状況＞ 収集件数:1,311件																																								

②事業成果の点検

目標指標	一般家庭ごみの収集運搬量(委託分)(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	t		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	57,315	令和3年度	63,944	令和4年度	61,753
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)										
	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトソーシングの更なる導入についての基本的方向性を踏まえ、令和3年4月から委託範囲を見直し、委託地区を65%から76%へ拡大した。 ・市民に対する減量や再資源化を促す適正排出に関する啓発等を行ってきており、一般家庭ごみの収集運搬量は、長期的には減少傾向にある。 										
【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)											
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、直営と委託の最適なバランスや保持すべき直営体制の規模などについて、検討する。 ・引き続き、収集運搬業務を継続的かつ安定的に実施していくため、委託業者の管理監督を適切に行っていく。 											

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	881,444	951,105	950,885	952,494	
委託料	881,444	951,105	950,885	952,494	一般家庭ごみ収集運搬業務委託料等
人件費 B	29,892	11,600	11,498	11,598	
職員人工数	3.52	1.51	1.50	1.51	
職員人件費	27,361	11,600	11,498	11,598	
会任等人件費	2,531				
合計 C(A+B)	911,336	962,705	962,383	964,092	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	911,336	962,705	962,383	964,092	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	し尿収集委託事業費	4T1A	施策	12 環境保全・創造	
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		展開方向	12-2 循環型社会の形成	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成7年度
会計	01 一般会計				
款	20 衛生費				
項	25 清掃費				
目	15 し尿処理費				

局	経済環境局	課	業務課	所属長名	神田 達也
---	-------	---	-----	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市内の未水洗化世帯及び工事現場等から排出されるし尿の収集を実施することにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。																																							
事業概要	公共下水道計画区域外及び公共下水道計画区域内の未水洗化世帯並びに工事現場等から排出されるし尿の収集を業務委託により実施する。																																							
実施内容	市域全体を対象とし、業務委託により、し尿の収集運搬業務を実施する。 【収集内容等】 ①一般家庭:無料で定期収集 ②少量(600ℓ未満/月)排出事業所:無料で定期収集 ③多量(600ℓ以上/月)排出事業所:有料で定期収集 ④工事現場やイベント等の仮設便所等から臨時排出:有料で収集 ⑤市民団体や公共機関が実施する非営利の行事等に対し、移動式公衆便所を貸出																																							
	<し尿収集量> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期収集(無料)</td> <td>401kl</td> <td>369kl</td> <td>324kl</td> <td>330kl</td> <td>312kl</td> <td>291kl</td> </tr> <tr> <td>定期収集(有料)</td> <td>60kl</td> <td>55kl</td> <td>58kl</td> <td>46kl</td> <td>46kl</td> <td>36kl</td> </tr> <tr> <td>臨時し尿</td> <td>417kl</td> <td>328kl</td> <td>517kl</td> <td>926kl</td> <td>743kl</td> <td>780kl</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>878kl</td> <td>752kl</td> <td>899kl</td> <td>1,302kl</td> <td>1,101kl</td> <td>1,107kl</td> </tr> </tbody> </table>							平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	定期収集(無料)	401kl	369kl	324kl	330kl	312kl	291kl	定期収集(有料)	60kl	55kl	58kl	46kl	46kl	36kl	臨時し尿	417kl	328kl	517kl	926kl	743kl	780kl	合計	878kl	752kl	899kl	1,302kl	1,101kl
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																		
定期収集(無料)	401kl	369kl	324kl	330kl	312kl	291kl																																		
定期収集(有料)	60kl	55kl	58kl	46kl	46kl	36kl																																		
臨時し尿	417kl	328kl	517kl	926kl	743kl	780kl																																		
合計	878kl	752kl	899kl	1,302kl	1,101kl	1,107kl																																		

②事業成果の点検

目標指標	一般家庭及び少量排出事業所において収集を行っているし尿貯留槽の数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)						単位	基			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	160	令和3年度	154	令和4年度	151
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・下水道の人口普及率は99.9%で、市内のほぼ全域で下水道整備が実施されていることから、今後、水洗化が進むことにより、収集を行うし尿貯留槽の数は減少していくものと考えられる。 ・委託事業者である環境財団が将来的には解散することが決まっており、その後も事業を継続していく必要がある。										
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・今後も引き続き、排出されるし尿を適正に処理していく。 ・事業継続の実施方法について検討していく。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	38,828	38,828	38,828	38,828	
委託料	38,828	38,828	38,828	38,828	し尿収集運搬等業務委託料
人件費 B	837	506	1,134	508	
職員人工数	0.01		0.10	0.10	
職員人件費	78		507	508	
会任等人件費	759	506	627		
合計 C(A+B)	39,665	39,334	39,962	39,336	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	13,247	13,071	15,154	13,629	一般廃棄物処理手数料
一般財源	26,418	26,263	24,808	25,707	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	自動車公害対策事業費	4N1A	施策	12 環境保全・創造	
根拠法令	大気汚染防止法、騒音規制法等		展開方向	12-3 環境の保全	
事業分類	法定事業(裁量含む)	事業開始年度			-
会計	01 一般会計				
款	20 衛生費				
項	20 環境保全費				
目	10 環境対策費				

局	経済環境局	課	環境保全課	所属長名	吉村 忠和
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	自動車公害に関する大気汚染及び騒音・振動の状況を監視するとともに、エコドライブの周知啓発等を行うことにより、公害の未然防止を図る。
事業概要	自動車公害に関する大気汚染及び騒音・振動の監視、事業者からの届出受理並びにエコドライブの周知啓発等を行う。
実施内容	<p>○法定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自動車排出ガス測定所(9か所)での常時監視業務(測定局保守管理、測定値データ管理等) 2 主要幹線道路(16路線)での騒音・振動の調査業務 3 騒音測定データの面的評価による実態評価業務 (幹線交通を担う道路の道路端から50m以内の住居等における環境基準の達成状況を評価) 4 特定建築物の届出及び指導(令和4年度届出件数:8件60戸(令和3年度:7件84戸)) <p>○法定外</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 沿道環境の改善のための国土交通省等との協議 2 エコドライブの周知啓発 3 自動車公害に関する苦情・紛争の処理(令和4年度苦情件数:5件(令和3年度:6件))

②事業成果の点検

目標指標	行政処分件数(環境保全課)						単位	件/年		
目標・実績	目標値	0	達成年度	毎年度	令和2年度	0	令和3年度	0	令和4年度	0
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・届出審査の適正な実施、立入検査等の継続により、改善命令等の行政処分はなかった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車公害に関する大気汚染及び騒音・振動の常時監視等を行い、市内環境の状況を把握する。 ・届出審査を実施するとともに、エコドライブの周知啓発等を行うことにより、公害の未然防止を図る。 ・自動車公害に関する市民からの相談等に対し、速やかな現地調査及び事業者への指導等を行い、その解決を図る。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	18,240	20,443	19,188	30,851	
需用費	1,973	2,091	1,374	2,663	消耗品費、光熱水費、修繕料等
役務費	716	716	680	802	検定手数料、回線使用料等
委託料	15,550	16,331	17,131	17,358	測定所保守管理業務委託等
使用料及び賃借料	1	3	3	31	市民まつり出店料、電柱使用料
その他		1,302		9,997	工事請負費、備品購入費等
人件費 B	12,925	12,365	13,013	12,778	
職員人工数	1.68	1.78	1.84	1.56	
職員人件費	12,737	12,365	13,013	11,982	
会任等人件費	188			796	
合計 C(A+B)	31,165	32,808	32,201	43,629	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	3,006	2,986	3,044	3,044	大気汚染測定網管理委託金
市債					
その他	2,675	2,675	2,675	2,675	自動車排出ガス測定所管理受託収入
一般財源	25,484	27,147	26,482	37,910	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	大気汚染対策事業費	4N1K	施策	12 環境保全・創造	
根拠法令	大気汚染防止法、悪臭防止法等		展開方向	12-3 環境の保全	
事業分類	法定事業(裁量含む)	事業開始年度			-
会計	01 一般会計				
款	20 衛生費				
項	20 環境保全費				
目	10 環境対策費				

局	経済環境局	課	環境保全課	所属長名	吉村 忠和
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	大気汚染の状況を監視するとともに、工場や事業場、解体等工事現場への立入検査等を行うことにより、公害の未然防止を図る。
事業概要	一般環境における大気汚染の監視、大気汚染に係る工場・事業場からの届出受理、立入検査及び解体等工事現場におけるアスベスト濃度測定等を行う。
実施内容	<p>○法定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 一般環境大気測定所(3か所)での常時監視業務 2 大気汚染関連施設の届出受理、立入検査及び測定等の業務 対象法令:大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、兵庫県環境の保全と創造に関する条例 (令和4年度届出件数:198件、立入検査:26件、測定:0件) 3 公害防止組織法の届出受理等の業務 (令和4年度届出件数:14件) 4 アスベスト対策に関する届出の受理、立入検査及び測定等の業務 (令和4年度届出件数:327件、立入検査:889件、測定:54件(142地点)) 5 光化学スモッグに関する汚染物質の削減要請等業務 (令和4年度発令回数:0回) <p>○法定外</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大気汚染、粉じん及び悪臭に関する苦情・紛争の処理 (令和4年度苦情件数:104件、現場調査:247件)

②事業成果の点検

目標指標	行政処分件数(環境保全課)							単位	件/年	
目標・実績	目標値	0	達成年度	毎年度	令和2年度	0	令和3年度	0	令和4年度	0
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・届出審査の適正な実施、立入検査等の継続により、改善命令等の行政処分はなかった。 ・石綿飛散防止対策として、石綿含有建材の見落としを防ぐため、原則、把握した全ての解体等工事現場へ立入検査を実施するとともに、飛散性石綿の除去作業については、開始前の養生等確認検査、作業中の抜き打ち検査、完了後の石綿の取り残り確認検査を実施した。 ・災害起因での石綿の飛散・ばく露防止を目的として、災害発生時の石綿飛散対策をまとめた「尼崎市災害時石綿飛散防止マニュアル」を作成した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気環境の常時監視を行い、市内環境の状況を把握する。 ・届出審査、工場・事業場及び解体等工事現場への立入検査等を実施し、公害の未然防止を図る。 ・大気汚染、粉じん及び悪臭に関する市民からの相談等に対し、速やかな現地調査及び事業者への指導等を行い、その解決を図る。 ・大気汚染防止法の改正内容について、市報やホームページへの掲載に加え、関係事業者へ個別に周知を行う。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	33,150	29,407	30,920	29,429	
需用費	6,352	4,279	5,661	5,883	消耗品費、光熱水費等
役務費	696	696	617	734	テレメーター回線使用料
委託料	22,014	22,403	20,453	22,396	測定所保守管理業務委託等
使用料及び賃借料	1,989	1,989	1,824	36	環境情報システムリース等
その他	2,099	40	2,365	380	報償費、旅費、負担金、備品購入費等
人件費 B	45,517	46,301	45,376	44,176	
職員人工数	5.78	6.63	6.58	5.77	
職員人件費	43,923	46,301	45,376	42,109	
会任等人件費	1,594			2,067	
合計 C(A+B)	78,667	75,708	76,296	73,605	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	4,016	4,016	4,016	4,015	大気汚染測定網管理委託金等
市債					
その他					
一般財源	74,651	71,692	72,280	69,590	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	水質汚濁・土壌汚染対策事業費	4N21	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	水質汚濁防止法、土壌汚染対策法等			
事業分類	法定事業(裁量含む)	事業開始年度	展開方向	12-3 環境の保全
会計	01 一般会計			
款	20 衛生費			
項	20 環境保全費			
目	10 環境対策費			

局	経済環境局	課	環境保全課	所属長名	吉村 忠和
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	水質汚濁及び土壌汚染の状況を監視するとともに、工場や事業場への立入検査等を行うことにより、環境汚染の未然防止を図る。
事業概要	一般環境における水質汚濁の監視、水質汚濁及び土壌汚染に係る工場・事業場からの届出等受理、立入検査、工場排水や土壌、地下水に含まれる有害物質の測定を行う。
実施内容	<p>○法定</p> <ol style="list-style-type: none"> 公共用水域及び地下水の水質汚濁状況の常時監視業務 (河川11地点、海域3地点、底質調査8か所、地下水調査8か所) 水質汚濁関連施設の届出等受理、立入検査及び測定等の業務 (令和4年度届出等件数:308件、立入検査:189件、測定:95件) 土壌汚染対策法等に基づく届出等受理、立入検査及び測定等の業務 (令和4年度届出等件数:127件、立入検査:21件、測定:7件) <p>○法定外</p> <ol style="list-style-type: none"> 水質汚濁及び土壌汚染に関する苦情・紛争の処理 (令和4年度苦情件数:5件、現場調査:4件)

②事業成果の点検

目標指標	行政処分件数(環境保全課)							単位	件/年	
目標・実績	目標値	0	達成年度	毎年度	令和2年度	0	令和3年度	0	令和4年度	0
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 届出等審査の適正な実施、立入検査等の継続により、改善命令等の行政処分はなかった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共用水域及び地下水の常時監視を行い、市内環境の状況を把握する。 届出等審査及び工場・事業場への立入検査等を実施し、公害の未然防止を図る。 水質汚濁及び土壌汚染に関する市民からの相談等に対し、速やかな現地調査及び事業者への指導等を行い、その解決を図る。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	5,810	6,652	6,636	7,281	
旅費				52	環境調査研修所等
需用費	2,363	2,848	2,723	3,191	消耗品費、修繕料
委託料	2,602	2,959	3,069	3,193	公共用水域採水業務委託等
使用料及び賃借料	282	282	281	282	海上監視艇備船使用料等
負担金補助及び交付金	563	563	563	563	協議会等会費
人件費 B	38,337	37,780	37,900	37,911	
職員人工数	4.92	4.97	4.97	4.92	
職員人件費	38,243	37,780	37,900	37,791	
会任等人件費	94			120	
合計 C(A+B)	44,147	44,432	44,536	45,192	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他		220	760	240	汚染土壌処理業許可申請手数料
一般財源	44,147	44,212	43,776	44,952	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	騒音振動対策事業費	4N2A	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	騒音規制法、振動規制法等			展開方向
事業分類	法定事業(裁量含む)	事業開始年度	-	
会計	01 一般会計			
款	20 衛生費			
項	20 環境保全費			
目	10 環境対策費			

局	経済環境局	課	環境保全課	所属長名	吉村 忠和
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	航空機の騒音及び新幹線の騒音・振動の状況を監視し、さらなる改善に向けて国等へ要望するとともに、工場や事業場、解体等工事現場への立入検査等を行うことにより、公害の未然防止を図る。
事業概要	騒音及び振動に係る工場・事業場からの届出受理、立入検査並びに事業者への指導等を行う。また、航空機の騒音や新幹線の騒音・振動の監視を行い、近隣市と連携して国等への要望を行う。
実施内容	<p>○法定</p> <p>1 特定建設作業の届出の受理、立入検査、事業者への指導等の業務 (令和4年度届出件数:1,883件、立入検査:372件、測定:65件)</p> <p>2 騒音・振動発生施設の届出の受理、立入検査、事業者への指導等の業務 (令和4年度届出件数:154件、立入検査及び測定件数は上記に含む)</p> <p>3 新幹線の騒音・振動の実態調査業務 (武庫、猪名寺、食満、小中島の4地区の計24地点において騒音及び振動の測定を実施)</p> <p>4 航空機騒音の実態調査業務 (武庫西生涯学習プラザの屋上にて騒音測定実施)</p> <p>○法定外</p> <p>1 国等に対する騒音・振動等の改善のための要望活動(新幹線関係、航空機関係) (新幹線関係要望先:環境省、国土交通省、JR西日本)(航空機関係要望先:国土交通省、関西エアポート(株)等)</p> <p>2 騒音及び振動に関する苦情・紛争の処理 (令和4年度苦情件数:166件、現場調査:437件)</p>

②事業成果の点検

目標指標	行政処分件数(環境保全課)						単位	件/年		
目標・実績	目標値	0	達成年度	毎年度	令和2年度	0	令和3年度	0	令和4年度	0
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>・届出審査の適正な実施、立入検査等の継続により、改善命令等の行政処分はなかった。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・航空機の騒音や新幹線の騒音・振動の状況の監視を行い、近隣市と連携して国等への要望を行う。</p> <p>・届出審査、工場・事業場及び解体等工事現場への立入検査等を実施し、公害の未然防止を図る。</p> <p>・騒音及び振動に関する市民からの相談等に対し、速やかな現地調査及び事業者への指導等を行い、その解決を図る。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	72	357	129	517	
旅費				49	環境調査研修所
需用費	4	116	70	377	消耗品等
役員費			46	23	検定手数料
負担金補助及び交付金	68	34	13	68	大阪国際空港周辺都市対策協議会分担金
その他		207			備品(騒音計)購入費
人件費 B	22,492	22,362	22,225	22,380	
職員人工数	3.24	3.24	3.24	2.57	
職員人件費	22,492	22,362	22,225	19,740	
会任等人件費				2,640	
合計 C(A+B)	22,564	22,719	22,354	22,897	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	22,564	22,719	22,354	22,897	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	市民農園等運営事業費	6221	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	尼崎市民農園実施要綱等			
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭和53年度	
会計	01 一般会計			
款	30 農林水産業費			
項	05 農業費			
目	15 農業振興費			

局	経済環境局	課	農政課	所属長名	松本 俊昭
---	-------	---	-----	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	野菜作りに関心がある市民を対象に、市民農園及び農作業体験の場を通じて、市民が直接土に触れ農業に親しめる機会を提供するとともに、農地の有効活用と農業に対する理解を深めてもらう。
事業概要	市民農園開設に係る整備費の見積り、市報等による入園者の募集、抽選、入園説明会の開催、契約事務等を行い、市民農園の運営を支援する。また、学童農園については、要綱に基づきその整備費の一部を補助し、契約に係る事務を支援する。
実施内容	<p>1 市民農園事務支援 農家が農園の整備、管理を行い、市は広報、入園者の募集・抽選等を行う。 ＜令和4年度実績＞ 全20箇所 955区画</p> <p>2 学童農園の設置 市内2箇所の小学校で学童農園を実施している。農園用地の確保が可能な農園設置者(小学校)から、要綱に基づく農園設置申込みにより申請を受け、審査のうえ決定通知書を交付し、農園整備に必要な費用を負担している。なお、農園に供する農地の使用については、尼崎市と所有者の間で「学童農園土地使用賃貸借契約」を締結している。 ＜令和4年度実績＞ 名和小学校 立花西小学校</p>

②事業成果の点検

目標指標	市民農園の新規開設面積(平成30年度以降の累計)								単位	m ²
目標・実績	目標値	7,500	達成年度	令和9年度	令和2年度	3,055	令和3年度	3,055	令和4年度	3,525
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) 農会長会等を通じて、市民農園制度の周知に努め、令和5年度の開設に向けて、市民農園のない地区(若王寺)で1件の開設支援を行った。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) 市民農園のメリットを伝えるチラシを作成し、農会長会で丁寧に説明を行うなど、新規開設につなげる。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	35	37	44	56	
委託料	35	37	37	37	学童農園整地業務委託
使用料及び賃借料			7	19	市民農園利用者説明会会場使用料
人件費 B	1,866	2,234	2,048	1,991	
職員人工数	0.24	0.31	0.34	0.31	
職員人件費	1,866	2,234	2,048	1,991	
嘱託等人件費					
合計 C(A+B)	1,901	2,271	2,092	2,047	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	1,901	2,271	2,092	2,047	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	地盤沈下測量事業費	803W	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	尼崎市の環境をまもる条例、工業用水法			
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭和34年度	
会計	01 一般会計			
款	40 土木費			
項	05 土木管理費			
目	05 土木総務費			

局	都市整備局	課	河港課	所属長名	福田 大樹
---	-------	---	-----	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	過去に工業用水の過剰な揚水が原因で大規模な地盤沈下が発生した経緯があり、全市域が工業用水法による指定区域で揚水が規制されている。市内の地盤高及び地下水水位を測量し、地下水のくみ上げ等による地盤沈下が発生しないよう、測量により不安な地盤構造をもつ本市の地盤の変動状況を観測し把握する。
事業概要	地盤沈下計及び水位計観測業務の委託、一級水準点測量業務の委託(3年に1回、直近:令和3年度実施)、尼崎市の環境をまもる条例に基づく地下水採取の届出
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○地盤沈下計水位計観測業務委託 自動観測により年間の値を計測、1ヶ月毎に実測を行う。 観測年報の作成 ・観測箇所 グンゼ観測所(地盤沈下、地下水位) 神東観測所(地下水位) ○一級水準点測量業務 土地の上下変動を精密に測る水準測量を行う。(水準点122点、測量延長101.5km) ○阪神地区地盤沈下調査連絡協議会への参加 ・上記、水準測量実施のための連絡調整会議

②事業成果の点検

目標指標	年間沈下量2cm以上の点								単位	点
目標・実績	目標値	0	達成年度	令和5年度	令和2年度	0	令和3年度	0	令和4年度	0
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に実施した一級水準点測量の結果については、平成30年度の結果と比較したところ平均-8.71mmと沈下傾向であり、ほぼ全ての基準点が沈下傾向を示している。 ・沈下量の8割が1cm以下であるため、市全体的には沈静化しており、1cm以上の沈下点は25点であった。 ・3年間の沈下量は、国道2号以北が8点、以南が17点あり、特に海岸付近に1cm以上の沈下点が集まっているため沈下が継続していると考えられる。 ・地盤沈下計を設置している観測箇所においては、年間の変化量が+0.68mmと微量の隆起である。 ・以上のことから、年間沈下量が2cm以上となる点はないことから、目標を概ね達成している。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に沈下傾向かつ市南部地域で沈下が続いている状況であり、南海トラフ地震が危惧されている状況であるため、今後も継続して観測を行う必要がある。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	1,243	16,638	1,375	1,750	
委託料	1,243	16,638	1,375	1,750	地盤沈下水位計観測業務委託
人件費 B	2,099	1,776	1,686	922	
職員人工数	0.27	0.23	0.22	0.12	
職員人件費	2,099	1,776	1,686	922	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	3,342	18,414	3,061	2,672	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	3,342	18,414	3,061	2,672	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	河川愛護運動推進事業費	8K1K	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	—		展開方向	12-3 環境の保全
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	—	
会計	01 一般会計			
款	40 土木費			
項	20 河川水路費			
目	10 河川費			

局	都市整備局	課	河港課	所属長名	福田 大樹
---	-------	---	-----	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	良好な河川・水路の環境を維持しようと清掃活動を行っている河川愛護団体に対して、清掃に必要な資材を提供することなどにより、その活動を支援する。また、関係団体が主催する河川清掃事業への参画、PR活動や、市としても河川清掃事業に取り組むことで、広く市民に対して「身近な河川をみんなできれいにしよう」という河川愛護精神の高揚を図る。												
事業概要	市民による河川清掃の取組を支援するため、河川愛護団体に対し、清掃用具等の支給やボランティア保険への加入等の支援を行う。												
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録団体(団体)</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>清掃回数(回)</td> <td>42</td> <td>62</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table> <p>○河川愛護活動への支援 清掃用具の配付(軍手、ごみ袋等)、ボランティア保険の加入 ○市や関係団体が主催する河川清掃事業(令和4年度) 河川愛護団体による河川清掃(随時実施)、ラブリバー庄下川作戦(年1回)、市内一斉河川清掃(年1回)</p>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	登録団体(団体)	10	11	11	清掃回数(回)	42	62	126
	令和2年度	令和3年度	令和4年度										
登録団体(団体)	10	11	11										
清掃回数(回)	42	62	126										

②事業成果の点検

目標指標	河川愛護団体の会員数(成果指標の数値化が困難なため、活動指標を設定)	単位	人										
目標・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>756</th> <th>達成年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和2年度</th> <th>623</th> <th>令和3年度</th> <th>628</th> <th>令和4年度</th> <th>632</th> </tr> </thead> </table>	目標値	756	達成年度	令和5年度	令和2年度	623	令和3年度	628	令和4年度	632		
目標値	756	達成年度	令和5年度	令和2年度	623	令和3年度	628	令和4年度	632				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) 過去10年程の推移をみると、愛護団体数及び会員数ともに、おおむね横ばいである。会員数や愛護団体数が増加すると、普段から地域の清掃に協力的な市民が増え、市が行う維持管理事業費が少しでも削減されることが見込まれる。今後も事業を継続していくためにも、若年層の会員数や愛護団体数の増加に向けた取組について検討が必要である。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) 良好な河川・水路の環境を維持するため、今後も事業を維持していく必要がある。若年層の会員数や愛護団体数の増加のため、庄下川ラブリバー委員会の会員が企画する子供向けイベントや、市の行う他の住民向けイベントにおいて、ラブリバー庄下川作戦に合わせて実施するなどにより、若年層の河川・水路を知りきっかけづくりを進める。 これまで、近隣の小学校(明城、金楽寺、難波)と中学校(成良)、県立尼崎高校にピラを配布し周知を行っていたが、新たに範囲を広げてピラ配布を行い、周知を図っていく。 令和4年度にはラブリバー庄下川作戦の参加者に対し、あま咲きコインのポイントを付与することによって、河川清掃に参加する動機付けのため、19名へあま咲きコインのポイントを付与したが、今後も周知啓発を図り、さらなる参加者増を見込みポイント付与の継続をしていく。</p>												

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	17	25	12	49	
需用費	7	18	2	19	清掃用具
役務費	10	7	8	10	ボランティア保険
負担金補助及び交付金			2	20	あま咲きコインポイント
人件費 B	2,115	1,699	1,840	1,843	
職員人工数	0.27	0.22	0.24	0.24	
職員人件費	2,115	1,699	1,840	1,843	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	2,132	1,724	1,852	1,892	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	2,132	1,724	1,852	1,892	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	21世紀の尼崎運河再生プロジェクト事業費	8P15	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	—		展開方向	12-3 環境の保全
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成20年度		
会計	01 一般会計			
款	40 土木費			
項	25 港湾費			
目	05 港湾費			

局	都市整備局	課	公園計画・21世紀の森担当	所属長名	富田 聡一郎
---	-------	---	---------------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	臨海地域の運河沿いは、行政が基盤整備等に積極的に取り組んできているが、市民にあまり認識されていないことから、運河という資源を生かし、その魅力を発信することで臨海部の活性化を図る。
事業概要	環境体験学習、チャンネルガイド養成講座などを実施する。
実施内容	<p>21世紀の尼崎運河再生実行委員会において、尼崎運河再生の取組を検討するとともに、平成20年度から港湾管理者である兵庫県はハード事業、市は市民等にプロジェクトを周知するためのソフト事業を実施してきた。平成28年度から開始した提案型事業委託制度による委託期間は平成30年度に終了した。</p> <p><取組状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度 小学校3・4年生を対象としたバス借上げ事業、チャンネルガイド養成講座を開始 平成26年度～平成30年度 バス借上げ事業を教育委員会所管のかんきょうモデル都市あまがさき探検事業に統合 平成28年度～平成30年度 提案型事業委託制度による外部委託 令和元年度～環境体験学習、チャンネルウォーク等継続実施 <p><実績(参加延べ人数)></p> <ul style="list-style-type: none"> 環境体験学習(平成30年度744人、令和元年度221人、令和2年度41人、令和3年度325人、令和4年度200人)

②事業成果の点検

目標指標	尼崎21世紀の森又は運河に関する取組の認知度							単位	%	
目標・実績	目標値	30.0	達成年度	令和9年度	令和2年度	22.4	令和3年度	17.9	令和4年度	18.1
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生の親子を対象とした環境体験学習会では、「生き物のすみかづくり工作会」を新規学習メニューとして実施した。 尼崎チャンネルガイドの会は、チャンネルウォークの実施に加え環境体験学習にも参加し運河の魅力を発信した。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> HPの掲載内容の充実やバス広告による広報を行ってはいるものの、認知度向上への効果は限定的であった、引き続き認知度向上に向けた取組を行うとともに、環境体験学習会がより気軽に参加できるものになるようメニューを検討していく必要がある。 引き続き、運河の魅力を発信する団体を支援していく必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、団体の支援や運河への興味・関心につながる環境学習のメニューを充実させることにより認知度の向上を図る。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	2,550	2,198	2,132	2,912	
報償費	30	119	101	210	環境体験学習に係る報償費
需用費	59	72	41	60	消耗品費
役務費	1	497	385	400	バス広告料
委託料	2,328	1,399	1,605	2,242	業務委託
使用料及び賃借料	132	111			バス借上げ料(令和4年度委託料)
人件費 B	2,643	2,548	2,453	2,304	
職員人工数	0.34	0.33	0.32	0.30	
職員人件費	2,643	2,548	2,453	2,304	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	5,193	4,746	4,585	5,216	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	5,193	4,746	4,585	5,216	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	尼崎21世紀の森構想推進事業費	8T29	施策	12 環境保全・創造
根拠法令	—		展開方向	12-3 環境の保全
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成14年度		
会計	01 一般会計			
款	40 土木費			
項	30 都市計画費			
目	05 都市計画総務費			
局	都市整備局	課 公園計画・21世紀の森担当	所属長名	富田 聡一郎

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	臨海地域を魅力と活力のあるまちに再生する「尼崎21世紀の森構想(以下、「森構想」という。)」を推進するため、兵庫県と共に「尼崎21世紀の森づくり協議会」を設立、あらゆる主体の参画と協働により活動する。
事業概要	「尼崎21世紀の森づくり協議会」(以下、「協議会」という。)の運営を支援するなど、市民・企業等の参画と協働による森づくり・まちづくりを段階的に具体化していく。
実施内容	<p>森構想に基づき市民、企業、行政などあらゆる主体の参画と協働による森づくり・まちづくりを具体化していくためのシステムづくりを目指し、平成14年度に設置された協議会や市民活動の実践の場である部会の運営・支援を行ってきた。平成25年度に、活動を支える部会員の増加と新たな人材の発掘、森構想の市民組織等による自主的な展開の進展を目指すため体制を見直し、協議会を協議体と活動体に区分した。</p> <p>現在、協議体は新・協議会として構想マネジメントの推進に専念し、県とともに市も主体の1つとして協議会に参加して、参画と協働における交流型まちづくりによる森づくりを進めている。</p> <p>また、活動体として、森づくり活動に参画する団体(活動体)が自由に気軽に参画できる交流の場(プラットフォーム)「森の会議」を設置し、これまでの枠組みに捕らわれない自主的な活動を生み出すとともに、新たな活動団体等の参加を促し、活動の輪を広げている。</p> <p><主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催(年2回) ・森の会議の運営支援

②事業成果の点検

目標指標	尼崎21世紀の森づくりに関する活動の取組数						単位	回		
目標・実績	目標値	225	達成年度	令和9年度	令和2年度	127	令和3年度	168	令和4年度	160
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来園を促す取組として、従来のイベントに加えて新たに冬季の集客イベントとして「森のクリスマス」を実施し、尼崎の森中央緑地の魅力をはじめ、特色ある森づくりをPRした。 ・臨海地域におけるニーズを把握するため、臨海部で活動する団体と意見交換会を行った。 ・尼崎市市民提案制度にNPO法人尼崎21世紀の森より「自ら変わろう。水から川ろう」Activation On “The Yomo River”という環境学習を推進する提案がなされ採択された。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨海部に関する多様なニーズを把握し、実現化に向けた検討を県とともに行っていく必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、来園者の増加を目指したイベント等を県とともに検討・実施していく。 ・臨海地域におけるニーズに対し、森づくり協議会の場においても検討を進めるほか、県に対して要望を行っていく。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	2,074	2,514	2,397	2,740	
旅費	20	22	7	30	職員旅費
需用費	3	5		10	消耗品費
負担金補助及び交付金	2,051	2,487	2,390	2,700	協議会運営業務負担金 (県市が2分の1ずつ負担)
人件費 B	4,120	4,247	4,063	4,071	
職員人工数	0.53	0.55	0.53	0.53	
職員人件費	4,120	4,247	4,063	4,071	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	6,194	6,761	6,460	6,811	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	6,194	6,761	6,460	6,811	

(このページは白紙です)